

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	9月 補正 後	事項	ものづくり企業アジア販路拡大強化事業費							予算主管課	産業政策課
		事業 概要	経済交流ミッションに併せた知事トップセールスや、現地の開発課題、企業ニーズに対応できる県内企業の製品技術のパッケージとしての提案など、ビジネスモデルの確立と周辺国・地域への展開につなげ、県内企業の海外販路開拓を支援する。							始期	H25
										終期	R6
	K P I	本事業による県関与成約件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	—	時点・期間	—
		現状値	31 件	目標値	34 件	目標値	40 件	目標値	— 件	目標値	— 件
				実績値	7 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件
				達成率	20.59 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終現計予算額	37,446 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	32,058 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>ものづくり分野は、商談から成約まで時間を要し、コロナ禍（R2～R4年度）において、対面営業が制約され、種まきを十分に行えなかったことが、R5年度の実績に影響していると思料。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>R5年度以降、経済交流ミッション派遣先の現地政府機関や現地ビジネスパートナーとの連携をより強化し、県内企業の優れた技術による現地課題解決に向けたプロジェクト等を進めており、引き続き、この方針の元、実需創出に向けた取り組みを行うことが効果的と考えられることから、R6年度の執行方法やR7年度の見直しは想定していない。</p>								
2	当初	事項	ものづくり企業デジタルシフト支援事業費							予算主管課	産業政策課
		事業 概要	製造業の生産性向上及びIT企業等の実需創出を図るため、専門家の現場調査により業種毎のデジタル化モデルを作成・横展開し、県内IT企業等とのマッチングを推進する。							始期	R3
										終期	R5
	K P I	県内ものづくり企業とIT企業・自動機械メーカーとのマッチング件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	—	時点・期間	—	時点・期間	—
		現状値	8 件	目標値	10 件	目標値	— 件	目標値	— 件	目標値	— 件
				実績値	10 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終現計予算額	7,540 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	7,487 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p> <p>コロナ禍による活動制限がある中で、可能な範囲で県内企業を訪問し、ものづくり企業とIT・FA企業とのマッチング支援を行い、生産性向上及び実需の創出に貢献した。本事業内において、製造業の生産性向上のための効果的な改善ポイントを明確化した支援モデルを構築できたことから、今後は、これを横展開することで、ものづくり企業とIT・FA企業との更なる連携を後押しする。</p>									
	見直し方向性		<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p>								

3	当初	事項	ものづくり企業新展開支援事業費							予算主管課	産業政策課
	事業概要	ものづくり企業におけるデジタル技術を活用した生産性向上への取組みや新分野への進出を後押しするため、専門家の伴走支援のもと、リーディング企業の育成と地域の雇用創出を図る。								始期	R3
										終期	R5
	K P I	テスト商談またはマッチング件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	—	時点・期間	—	時点・期間	—
		現状値	18 件	目標値	40 件	目標値	— 件	目標値	— 件	目標値	— 件
				実績値	60 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件
				達成率	150.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	29,974 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	29,467 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
	<p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p> <p>生産工程改善支援では、現場診断による「ものづくりデジタル化レベル」の判定を行い、ものづくり企業のデジタル化の現状を可視化することで、来季以降の取組目標を助言できた。また、新展開支援事業では、新事業展開を模索するものづくり企業の市場調査や販売戦略立案、DM配信等の営業活動等の伴走支援を行い、今後の販路開拓への足掛かりを作ることができた。引き続き支援事業者のフォローアップを行い、事業の拡大や雇用の創出に繋げていく。</p>										
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））									

4	当初	事項	ものづくり技術営業推進事業費							予算主管課	産業政策課
	事業概要	県外大手企業へのトップセールスやビジネスマッチング商談会の実施、大型展示会への出展等に加え、デジタル活用による非対面型支援により、県内ものづくり企業の知名度向上を図るとともに販路開拓支援を行う。								始期	H23
										終期	R6
	K P I	本事業による県関与成約額（年間）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5年度見込	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	18.4 億円	目標値	18.4 億円	目標値	19.4 億円	目標値	20.4 億円	目標値	21.6 億円
				実績値	26 億円	実績値	億円	実績値	億円	実績値	億円
				達成率	141.30 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	38,442 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	37,436 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
	総括（事業最終年度の場合、要記入。）										
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、県内ものづくり企業の県外大手企業に対する製缶や機械加工等のニーズを発掘し、マッチングの幅を広げることができているため、6年度以降のKPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。</p>								

5 当初	事項	戦略的ビジネスマッチング支援事業費								予算主管課	産業政策課
	事業概要	「スゴ技」データベースを起点に、各産業支援機関の経験豊富なコーディネータを活用することにより県内企業の事業展開を図る。								始期	H21
										終期	R6
	K P I	本事業による県関与成約額（年間）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5年度見込	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	—	時点・期間	—
		現状値	24.8 億円	目標値	24.8 億円	目標値	26.2 億円	目標値	— 億円	目標値	— 億円
				実績値	18.4 億円	実績値	億円	実績値	億円	実績値	億円
				達成率	74.19 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	10,265 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	9,076 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） ものづくり分野は、商談から成約まで時間を要し、コロナ禍（R2～R4年度）において、コーディネータによる企業訪問が制約され、十分なマッチング支援が行えなかったことが、R5年度の実績に影響していると思料。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） R5年度以降、コーディネータの企業訪問活動も正常化し、県内ものづくり企業の県外大手企業に対する製缶や機械加工等のニーズを発掘し、マッチングの幅を広げることができているため、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。</p>								